

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		平成28年12月6日(火曜日)		開 議 午後 2時 00 分 閉 議 午後 2時 54 分
出席委員		◎菱田 ○奥村(広聴部会長) ○山本(広報部会長) 三上 富谷 小川 並河 竹田 平本		
出席理事者				
事務局出席者		門事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事		
傍聴	可	市民1名	報道関係者0名	議員0名()

会 議 の 概 要

14:00

[菱田委員長 開議]

1 広聴部会活動

(1) 議会基本条例の検証に係る検討事項について

[奥村副委員長 説明]

<菱田委員長>

① 「説明責任を果たす」に関して、意見をいただきたい。

<小川委員>

個人的な質問は、受け付けないこととするのか。

<奥村副委員長>

例えば、一般質問の内容への質問は、基本的には質問の対象としないこととする。

<奥村副委員長>

一般質問のほか、討論についても対象外としてはどうか。

<小川委員>

混乱のないようにしていきたい。

<三上委員>

市民からすれば、議会は総意で動いているという考え方は、あまりないのではないか。一切質問の対象としないこととするのではなく、その場に質問された議員がいれば、議会報告会が終わった後で、議員個人として話をする等の対応をすればよいのではないか。

<菱田委員長>

議員としては、考えがあって議会で発言しているので、議会報告会等で質問されたことに対応するのは、当然のことである。このため、指名のうえ質問された議員は、答えてもよいのではないか。司会としては、基本的には回答できないということを、口頭により伝えることとするが、実際には進行する者の判断となる。

<富谷委員>

実際には、個人的な質問に対して、答える議員とそうでない議員がいるのではないか。

<三上委員>

質問に答えるために、後で時間をとるという対応も必要となるのではないか。

<菱田委員長>

② 「市民の意見を議会活動に反映させる」に関して、意見をいただきたい。

<竹田委員>

今後のあり方について、委員会で振り分けるが、委員会ではひとつの課題にすることもあり得る。その仕組みは次の段階としておくのがよい。今考えるのは難しいのではないか。例えば、半年に一度整理して、所管の委員会に送ることも考えられるが、現在はそのような仕組みはない。このようなことについては、今後、広報広聴会議でステップアップして、検討していく課題ではないかと考える。

<菱田委員長>

③ 「市民との意見交換の場を多様に設ける」に関して、意見をいただきたい。

<平本委員>

広報の充実はどのような手法によることとしているのか。

<奥村副委員長>

議会だよりや議会のフェイスブックで広報していく。

<菱田委員長>

今年度は新たな方法でわがまちトークを開催しており、ある程度この意見には対応できていると考える。

<三上委員>

議会だよりにわがまちトーク（各種団体版）の記事を、継続して掲載してもよいのではないか。

<菱田委員長>

わがまちトーク（各種団体版）について、期限を決めずに募集していくことに関して、どのように考えるか。

<三上委員>

期限を決めずに募集する場合、議会だよりに継続して掲載することが考えられる。そうなると、応募してもそのすべてに対応できるとは限らないという内容を、記載していく必要がある。実施する回数や場所について、制限をかける必要があるかもしれないが、議会だよりで掲載していきたい。

<奥村副委員長>

このことは、引き続き広報広聴会議で検討するよう、引き継いでいきたい。

<並河委員>

キラリ☆亀岡おしらせに、わがまちトーク（各種団体版）の募集記事を掲載してはどうか。

<菱田委員長>

わがまちトークの募集記事を、キラリ☆亀岡おしらせに掲載することは可能か。

<事務局次長>

現在は掲載していないが、今後検討することは可能である。

<小川委員>

広報の充実に努める意味でよいことだと思う。

<菱田委員長>

広報の充実に努めるにことに関しては、議会だよりに継続して掲載することと、キラリ☆亀岡おしらせも掲載することとしたい。

(2) 議会報告会の意見対応について（広報広聴会議所管分）

<奥村副委員長>

広報広聴会議に関するNo.1、2について、対応を決定していきたい。どちらも、当日会場で回答した通りであり、参考とすればよいと考える。

<菱田委員長>

No.1について、参考としてよいか。

—全員了—

<菱田委員長>

No.2について、参考としてよいか。

—全員了—

(3) わがまちトーク（自治会版）に係る意見、要望等について（参考）

<奥村副委員長>

千歳町、本梅町での意見について、広報広聴会議の所管とする項目はないが、参考に配付するので確認いただきたい。

<菱田委員長>

各項目については、所管の委員会で対応を検討いただくこととなる。

わがまちトークについては、1月に3カ所で開催することとなるので、よろしくお願ひしたい。

<山本副委員長>

わがまちトークに参加された議員に、どのようなことに気を付けて対応すべきか聞いておきたい。

<奥村副委員長>

執行部のように回答できないと考える。このため、参加される市民の皆さんの意見を、しっかり聞いていくのがよいと考えている。

<小川委員>

地域の課題について、しっかり聞くことが大事である。回答が可能な内容について、答えていた。

<富谷委員>

よい雰囲気で開催できたと思う。地域の課題については、地元議員が参加していたので、対応してもらっていた。

<奥村副委員長>

地域こん談会の資料は、事前に用意しておくのがよいと考える。

<菱田委員長>

地元と課題を共有し意見交換するのはよいと思った。また、地域こん談会の資料は用意する方がよいので、事務局に対応いただきたい。

<並河委員>

地域の課題を具体的に話されたので、よく理解できた。議員が勉強させてもらった。

<竹田委員>

地域の課題を話し合うこととなるが、あくまで議会として実施しているので、そのことを念頭に置くべきだと思う。事前打ち合わせをしていくと、お互いに的を絞った話し合いができると思う。

<奥村副委員長>

どの議員も発言するようになればよい。

<菱田委員長>

今後実施する自治会とは、しっかりと打ち合わせして対応するようにしていきたい。

2 その他

<菱田委員長>

次回の広報広聴会議では、わがまちトークの打ち合わせをすることとしたい。

散会 14:54